

9月2日に県立こころの医療センターで

2018年度 第2回現職者共通研修が開催されました。

今年から働き始めた1年目の作業療法士を中心に約30人の方が参加され、講義室が埋め尽くされるほどでした。

今回の研修では、研究や事例報告を中心とした4つのテーマに関してご講義頂きました。

講義の中で私が特に興味深く感じたものは、「作業療法の可能性」についてです。作業療法士という仕事は病院や施設だけに留まらず、たくさん活躍の場を広げており、その中には臨床だけでなく、制度や障がい者福祉に関わる仕事をされている方も居ると教えて頂きました。それに付随し、10年後の自分はどのような生活をしているのか、など将来について考える時間があり、自分自身と向き合える機会となりました。今はまだ目の前の課題に対して真剣に取り組む事しか出来ていませんが、限りある時間の中で自分に出来る事は何か、どのような作業療法士でありたいのか、改めて考えてみたいと思います。そうして描いた未来予想図に向かってこれからも精一杯努力していきたいと思いました。

日下病院 リハビリテーション部 伊藤あや

平成30年9月2日に県立こころの医療センターにて第二回現職者共通研修に参加してきました。今年の春から作業療法士になり、まだまだ分からないことが多く日々勉強しております。今回のテーマが事例研究や認定作業療法士など自分にとってはまだまだ先の話だと考えていました。しかし、講義を受け、論文を活用し、日々の臨床での課題を解決したり、また新たな課題に対し、研究をしていくことで、効果的なリハビリを実施するという必要性を感じました。また、症例登録・臨床研究の重要性を学び、作業療法のエビデンスを向上させていき、作業療法の必要性を世間にさらに知ってもらうことが大事ということ学びました。今後私も、作業療法士として地域に貢献し、認定作業療法士を目指して更に頑張っていきたいと思います。

鈴鹿回生病院 リハビリテーション課 工藤雄介